

べんからごうし



編集・発行
社会福祉法人京都市中京区社会福祉協議会
〒604-8316 京都市中京区大宮通御池下る三坊大宮町121-2
TEL.075-822-1011 FAX.075-822-1829
インターネットホームページ <http://www.mediawars.ne.jp/fukusi06>

あいさつ

社会福祉法人京都市中京区社会福祉協議会

会長 川口 東嶺

新年あけましておめでとうございます。輝けるミレニアム(千年紀)の幕開けを健やかに迎えられましたことをお慶び申し上げます。

さて、本年はいよいよ介護保険が実施される節目の年となります。またそのことを皮切りに社会福祉そのものの変革がなされるようとしている年でもあります。

戦後まもなく、日本の社会福祉は一部の恵まれない人に対する対応策として生まれました。そして、五十余年の年月は未曾有の少子高齢社会をもたらし、誰もがあたりまえに社会福祉を必要とする世の中に変化してまいりました。

これまで援助を必要としている人に対して国を中心とした行政が必要な対応をしていくという考えかたから、生活している個人々が「その人らしく」生きていくための必要な手立てを自分自身で選択するといふものに変化しようとしています。そのことは裏をかえせば、経済の分野でしばしば言われているような「自己責任」が社会福祉の分野でも求められているように思われます。

私も中京区社会福祉協議会は、区民が主人公であるということを再確認し区民のみなさまの声や願いに基づいて質の良い選択肢が整備された福祉のまちづくりを推進していきたいと思えます。そして個人の課題は地域の共有課題としてわかちあえるふところの深い街づくりにとりくんでいきたいと考えております。

区民一人ひとりがその人にあったライフスタイルをこの中京の街の中で実現できる、誰もが明るく健やかな21世紀の中京区を目指し、更なる皆様のご協力をお願い申し上げます。

区社協法人設立五周年で記念式典と祝賀会

三〇〇〇人が集い祝う

11/19

中京区社会福祉協議会は平成十一年度で法人設立五周年を迎えました。これを記念して昨年十一月十九日、式典と祝賀会を区内のホテルで開催し、区民や区内の福祉関係者ら約三〇〇〇人が五周年を祝いました。



中京区社協法人設立5周年記念式典。
あいさつするのは川口東嶺中京区社協会長

着実に事業を広げてきた五周年

社会福祉事業法にもとづき中京区社協が社会福祉法人格を取得して法人化したのは、平成六年四月一日のことでした。

さっそく学区社協の基盤強化と活動の活性化をめざし、各町内に町委員を設置しました。また翌七年一月に起こった阪神大震災の支援活動などに取り組みました。

七年度には、区社協と学区社協の活動を財政的に支えるための賛助会員を募集するとともに、福祉活動の拠点として元教養小学校跡に「中京区地域福祉センター」を開設しました。

このセンターは「ふれあいいきいきサロン」(七年度より)や、「中京区高齢者ミニデイサービス事業」(八年度より)、「手話ボランティア入門講座」(九年度より)な

ど各種講座の開催のほか、「いきいき会」「花みづきの会」などのボランティアグループの拠点ともなり、年間で約一万人が利用しています。

また八年度には「中京区ボランティアセンター」を設置、九年度は「青少年の福祉体験事業(ユースアクション)」を開始しました。十年度には「中京区介護家族の会」が発足されたほか、「介護保険シンポジウム」も開催しています。

さらに十一年度には「中京区ネットワーク」の設置、中京区に高齢者施設を建設するための「建設促進委員会準備会」の設置、「中京区介護ボランティア養成講座(三級ヘルパー資格取得講座)」の開催など、着実に事業を広げてきた五周年でした。

記念講演や手話劇も

岡田多栄子さんと桐の音会の琴の演奏で幕を開けた法人設立五周年記念式典では、こうした中京区社協五周年の活動のあゆみが紹介されました。

また、神戸女子短期大学の蜂須賀弘久教授(元京都教育大学学長)が「生涯教育における福祉教育」をテーマに記念講演を行い、京都市聴覚障害者協会中京支部と京都市手話学習会「みみずく」中京支部による手話劇「桃屋と竹屋の恋物語」が上演されました。

続く交流会では、若柳吉晴寿慶さんによる祝舞「鶴亀」をはじめ、和太鼓サークル

平成12年度賛助会員を募集

皆さまの善意を中京区の地域福祉の充実につなげていきます。どうぞご協力をお願いいたします。

賛助会費 ◇個人(世帯) 年1口 500円
◇法人(企業) 年1口 1,000円
(個人・法人とも口数に制限はありません。)

募集期間 平成12年1月より

募集方法 学区の社会福祉協議会の活動をお世話していただいている方がご訪問させていただきます。



手話劇「桃屋と竹屋の恋物語」の一場面。桃太郎と竹取物語と白雪姫をミックスした物語は意外な結末でした

「悠」による和太鼓演奏、新舞踊サークルの新舞踊、中京区地域女性連合会による「中京音頭」が披露され、五周年を盛り上げました。
なお式典・祝賀会には来賓として、榎本頼兼京都市長、北川龍市京都市社協会長、岡部弘中京区長、古川敏一中京区ふれあい事業実行委員長をはじめ、中京区選出府・市会議員など多数の方々が出席しました。

レポート 最前線

中京区の視覚障害者のサポートをします

グループ 「らくらく」 誕生

視覚に障害をお持ちの中京区民の方々の「目」になってお手伝いをしよう、このたびグループ「らくらく」（代表世話人坂本美江子）というボランティアサークルが誕生しました。

主な活動は、ガイドヘルパーの利用しにくい場合の外出支援や、ご家庭での郵便物の整理や代筆・つくろい物などの訪問生活支援、それと同じ内容の常駐サービスなどです。

常駐サービスは中京区地域福祉センターで毎月第四木曜日午後一時より四時まで行います。またみんなで楽しめるレクリエーションなども企画していきたいと考えています。

お問い合わせは「らくらく」事務局山本宗雄（八四一〇四一〇夜間）もしくは、中京区社会福祉協議会ボランティアセンター（八二二一〇一〇）までご連絡ください。

なおボランティアの募集もしています。特に資格や制限は設けていませんので、ふるって事務局までお申し込みください。

ボランティア大募集

	募集内容	場所	活動日時
キョート老人デイサービスセンター	キョート老人デイサービスセンターを利用されているお年寄りの話し相手や、囲碁や将棋の相手と一緒に時間を過ごして頂ける方、又、身の回りのお世話をして頂ける方 各種催しのお手伝いをして頂ける方	京都市中京区丸太町油小路西丸太町20-3（東堀川通り丸太町上る） 「キョート老人デイサービスセンター」 TEL (075) 231-1138 担当 高橋まで FAX (075) 231-3400	月曜日～金曜日 午前9時～午後4時頃まで (時間についてはご相談させていただきます)
重度障害者通所介護施設 じゅらく	(1)じゅらくに通所されている方々の身辺介助（食事、移動、見守りなど） (2)じゅらく内での日々の取り組みの支援（簡単な作業、散歩、絵画製作、音楽、調理等）	月～木曜日 じゅらく内 金曜日 障害者スポーツセンター 京都市中京区壬生西大竹町17 TEL (075) 821-4688 藤井、岸本	月～金曜日 10:00～15:30 (午前、午後のみでも可) (週1回、月1回でも可) 関心のある方は見学に来てください
M・Tサービス	知的障害者の方とおしゃべりや、ワープロ、銭湯と一緒に時間を過ごして頂ける方	京都市中京区西ノ京南壱井町28-11 京都手をつなぐ育成会 佐井共同作業所内 MTサービス 担当 丹まで TEL (075) 821-5952	毎週火曜日、水曜日、木曜日（祝日を除く） 午後5時～午後8時の3時間 (週1回、月1回でも可) ご相談に応じます。
地域支援センター なごやかサロン	京都市朱雀工場の授産活動である高齢者向けの会食サービスなごやかサロンの事業である利用者向けの会食サービスで調理のお手伝いをしていただける方を求めています。	社会福祉法人 京都光彩の会 精神障害者通所授産施設京都市朱雀工場 地域支援センター なごやかサロン TEL.075-314-0835 担当：西山・壱田	日時、内容等詳細は左記にお問い合わせください。

ボラ ン テ ィ ア

知識

わたしたちは普段、人と接するとき、自然と何も考えないで無意識の内に行動しているものです。しかし、障害のある方となると、どう接したらいいのか戸惑ったり、お手伝いしたい気持ちがあっても、接し方が分からないので、向こうから声をかけられるまで、見て見ぬふりをしてしまいがちです。いつもどおり特に意識をすることなく、自然な気持ちでお手伝いできるように具体例を紹介いたしますので、○×で挑戦してみてください。

ただし、答えは一般的なもので、絶対にこうしなければならないというものではありません。おこりっぽい人とおだやかな人がいるように、障害の程度などはそれぞれ違いますので、その方に気軽な気持ちで声をかけてから、好ましい方法でお手伝いするように心がけてください。
【何事も声をかけてから！突然は誰でもいやなものです。】

視覚障害者編

①目の不自由な方が横断歩道のないところを横断しようとしています。あなたは手を上げて車を止めて、目の不自由な方を優先して一緒に横断する。

答え×
目が不自由だからといって車道を渡ってはいけません。まずは、近くの横断歩道まで誘導し、一緒に渡るようにしてください。その際に、手を引っ張ったり、後ろから押したりすることは、好ましくありません。ひじなどをそっとそえて会話をしながら渡ってください。



②あなたは、目の不自由な方から道を聞かれました。教えるときに立っているところを基準に「東西南北」で説明しました。

答え×
東西南北で説明を受けたとしても、目の不自由な方は現在がどの方向を向いているのか分からない場合が多いものです。こんなときは、今立っているところを基準として、「何メートル位まっすぐ行って右です。」など、左右で説明するとよいでしょう。

時間に余裕のあるときなどは、目的のまで一緒に行かれてはいかがですか。

他に、一緒に食事をするときなどテーブルを時計に見立てて、「お茶碗から9時におかずの皿があります。お茶碗から12時にサラダがあります。」などと説明する場合もあります。



聴覚障害者編

①街角であなたは、耳が不自由な方に呼び止められました。そのときあなたは手話ができないことを理由に、丁寧にお断りしました。

答え×
耳が不自由な方とのコミュニケーションの方法には「身振り」「口話法」「手話」「筆談」などがあります。あなたを指名されたのですから、手話ができなくても断る前に身振り手振りの動作を交えたり、筆談で会話をしてみてください。



②電車の中で、手話でコミュニケーションをとっているグループを見かけました。そのとき、事故のため電車の発車が15分ほど遅れるというアナウンスが流れました。電車が動かないので、彼らは困っている様子です。あなたは、身振り手振りで電車が発車しないわけを説明しました。

答え○
聴覚に障害のある方は、見た目には判断しにくいものです。しかし、耳の不自由な方は、電車の音やアナウンスが聞こえないために、不安に思うことが多くあります。緊急のアナウンスなどは、ぜひ知らせるべきです。



車いす編

①あなたは、近所の車いすを使っている方から、おいしい店を紹介してほしいと頼まれ同時にその店での食事の約束をしました。次の日、車いすでも入れるかどうか、あなたのお気に入りの店に下見に行き、店の入口や通路を念入りにチェックしました。これでもう安心です。

答え×
車いすが入れたり、通れたりすることはもちろんですが、入口などの段差やトイレ、テーブルが車いすのまま利用できるかなどもチェックしておいたほうがよいでしょう。



②あなたは、友人5人と買い物中、階段の前で車いすに乗っている人に会いました。しかし、その建物はエスカレーターやエレベーターがないため、それらの設備がないことを告げ、その場を立ち去りました。

答え×
一般に車いすの重さは12～15kg位（電動車いすを除く）ですから、大人4人で、基本（ブレーキをかける・上りは前向き、下りは後ろ向き・持つ場所を確実に）を守って慎重にさえすれば、簡単に車いすのまま階段の上り下りができます。もし、不安なら周りの方に声をかけて協力を求めましょう。

